

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	図書館運営事業				事務事業コード	02801	
部名	生涯学習部	課名	図書館	係名	図書館サービス係	部課コード	120400

1. 事業概要

総合計画コード	3231				
事業年度	年度 ~	H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市図書館管理規則、朝霞市立図書館資料収集方針、朝霞市立図書館資料除籍基準、朝霞市立図書館対面朗読サービス実施要綱、朝霞市立図書館宅配貸出事務処理要綱、朝霞市立図書館郵送貸出事務処理要綱	
めざす目的成果	図書館資料の整備充実を図ることで、市民は館内の資料により、有益な、また、興味がある情報を的確に入手することができる。				
事業内容	図書館資料の選定から保存、廃棄までの管理。 図書館資料の貸出の利用促進。障害者に対するサービスの実施。 図書に関するイベントの開催。 図書館システムの管理、統計の作成等。 図書館協議会の開催(子ども読書活動推進計画策定の協議を含む)				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 資料管理業務や図書館・公民館間の資料回送など業務を一部業者へ委託。 (ただし、資料の選定・廃棄の決定は職員が行う) 図書館まつり・らいぶらりコンサートは実行委員会方式により市民等と協働で実施。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		図書館資料の選定から保存・廃棄までの管理、図書館資料の貸出の利用促進、障害者に対するサービスの実施、図書に関するイベントの開催(図書館まつりなど)、その他図書館協議会の開催、図書館システムの管理、統計等の作成等、図書館サービス基本計画の推進、子ども読書活動推進計画の策定。				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		66,093	68,610	63,046	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他	26,000	33,000	33,000	
		[ホ]一般財源	40,093	35,610	30,046	
	b 人件費	68,883	68,883	67,418		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	134,976	137,493	130,464		
投入労働量		常勤職員等(人工)	9.40 人	9.40 人	9.20 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	25,619 時間	24,473 時間	25,907 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		報酬 23,479千円・報償費 222千円・旅費 1,035千円・需用費 8,472千円・役務費 1,906千円・委託料 3,993千円 使用料及び賃借料 7,087千円・備品購入費 16,799千円・負担金補助及び交付金 53千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 開館日数	日	326	326	326	H 32 年度
			(315)	(—)	(—)	
動	② 新刊書の選書回数	回	50	50	50	H 32 年度
			(50)	(—)	(—)	
成	① 貸出点数(全7館)	点	1,107,000	1,114,000	1,121,000	H 32 年度
			(936,000)	(—)	(—)	
果	② 実質登録者数	人	27,500	28,000	28,500	H 32 年度
			(27,000)	(—)	(—)	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 平成28年度は「はじめてのプレママ・読み聞かせ講座」と題して、妊婦とその家族を対象とし、胎児に声を聞かせるツールとしての本の読み聞かせについて講座を実施した。今後も既イベントの充実を図るとともに新事業の企画など市民に情報を提供し、本に親しむことのできるよう事業を実施していく必要がある。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 活動指標は、排煙窓修繕やネットワーク分離作業などによる臨時休館が発生したため、達成することができなかった。成果指標も、貸出点数の減少により達成できなかった。しかしながら、今後の読書活動推進を図るため、新たな講座を実施するなど、指標に表れない事項についての目標を達成した。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: 利用しやすい図書館として、職員の接遇および資料の充実に努めた。 参加と協働: 多くの市民に参加してもらえ自主事業の企画・開催およびそれらへの参加を呼びかけるPR方法を検討した。 経営的な視点: 利用者の調査・研究に資することができるよう、予算の範囲内で資料の整備を図った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 図書購入費の見直しに伴い、適切な資料提供ができるよう、必要な図書を選書していくとともに、他市町村の相互貸借を利用して、利用者に対応していく。 引き続き、図書館で行う各種事業について、内容や実施時期を見直しを含め研究していく。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input checked="" type="radio"/> A 拡大	<input type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H 年度)	
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大		(実施時期 : H 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度) 図書購入費減額があるものの、適切な資料提供ができるよう選書に努めるとともに、利用者の図書資料に対する要望に応えるため、相互貸借などの対応を増やし、今後も利用者のリクエストにもできる限り応えていく。 平成29年度は朝霞市立図書館30周年であることから、分館と連携し、展示等を行い利用者にPRをし利用促進を図る。			